



ひと、暮らし、みらいのために
厚生労働省

鳥取労働局発表
平成23年10月19日

担	職業安定部職業安定課	長	津村 光明
課	地方職業指導官	岡本 勉	
当	電	話	0857(29)1707

就職内定率が昨年を下回る

～ 就職内定率31.6%、厳しい状況が続く ～

－ 平成24年3月新規高等学校卒業予定者の求人・求職・就職内定状況 －

鳥取労働局（局長 ^{もりた ひろし} 森田 啓司）は、平成24年3月新規高等学校卒業予定者に関する平成23年9月末現在における求人・求職・就職内定の状況を取りまとめました。その概要は次のとおりです。

1 就職内定の状況について

- (1) 就職内定者は 379人で、前年同期（397人）に比べ 4.5%（18人）減少。
- (2) 就職内定率は 31.6%となり、前年同期（33.4%）を 1.8ポイント下回る。
（統計が残る平成7年以降で5番目の低水準）

2 県内求人の状況について

- (1) 求人数は 697人で、前年同期（607人）に比べ 14.8%、90人の増加。
（統計が残る平成7年以降で5番目の低水準）
- (2) 求人倍率は 0.58倍で、前年同期（0.51倍）を 0.07ポイント上回る。
- (3) 県内求人を産業別にみると、前年同期と比べ、製造業で 38.9%（70人）、医療・福祉で13.7%（16人）、サービス業で5.6%（6人）増加した一方、建設業で 19.0%（8人）減少した。

【参考値】・県外からの連絡求人数は 319人で、前年同期 3.9%、13人の減少。
・県外就職希望者の求人倍率は1.35倍となり、前年同期を 0.23ポイント上回る。

3 求職の状況について

- (1) 求職者数は 1,200人で、前年同期（1,188人）に比べ 1.0%、12人の増加。
- (2) 卒業者のうち就職を希望する者の割合（就職希望率）は 22.0%で、前年同期を 1.0ポイント上回る。
（統計が残る平成7年以降で5番目の低水準）
- (3) 県内就職希望者数は、963人で前年同期に比べ8.1%、72人の増加。
（県内就職希望率は 80.3%で、前年同期を5.3ポイント上回る）

4 今後の主な就職支援対策について

- (1) 新規高等学校卒業予定者就職面接会の開催
米子会場 平成23年11月10日（木）13:30～16:00 米子ワシントンホテルプラザ
鳥取会場 平成23年11月11日（金）13:30～16:00 白兔会館
倉吉会場 平成23年11月14日（月）13:30～16:00 ホテルセントパレス倉吉
- (2) 求人開拓の継続実施
労働局、鳥取県及び鳥取県教育委員会による個別企業訪問要請、ハローワークによる求人開拓の継続実施
- (3) 未内定生徒に対する個別支援の実施
求職情報作成による個別求人開拓の実施
学卒ジョブサポーターによる生徒に対する個別支援の実施
- (4) 新卒者就職応援本部第4回会合の開催

【参考】・本調査は学校・ハローワークの紹介を希望する新規高等学校及び特別支援学校高等部卒業予定者と求人の状況を取りまとめたものである。
・平成24年3月新規高等学校卒業予定者の選考・採用内定開始期日は、文部科学・厚生労働両省により平成23年9月16日以降と定められている。